**平成26年度　精神障がい者地域移行ワーキングの取組**

|  |  |
| --- | --- |
| 目　的 | 精神科病院に入院している精神障がい者の地域移行及び地域定着の促進、並びに精神障がい者が地域で安心して暮らせる体制の整備について検討を行い、地域移行及び地域定着を推進する。  　（所掌事務）現状及び課題の整理、具体的な施策の検討  人材を育成するための研修等の企画 |
| 構成員 | メンバー：１３名  　（所属：精神科病院、相談支援事業所、相談支援機関、市町村、保健所） |
| H26年度  事業実績 | 【検討経過】  第1回（H26.8.7）  　・情報交換（精神障がい者の地域移行、地域定着の現状及び課題について）  第2回（H26.9.26）  　・課題整理（前回の情報交換を踏まえ課題を整理）  　・ワーキングでの取り組みについて検討   |  | | --- | | 【検討事項】  ①医療機関、地域の連携を効果的に行うため退院支援のﾓﾃﾞﾙ(ﾙｰﾙ)が必要  ②地域の受け皿やｻｰﾋﾞｽの支給決定に伴う課題について整理を行う必要あり |   第3回（H26.11.4）  　・作業（退院支援のルールの検討等）  　・意見交換（12/8精神障がい者地域移行・地域定着促進研修会について）  第4回（H27.2.16）  　・意見交換（これまでの取り組みの振り返り及び今後の計画について） |
| 今後の課題等 | 【ワーキングメンバーからの意見】  　・地域移行の研修会は、その場限りの盛り上がりで終わってしまう。  研修を次につなげる仕組みが必要。  　・地域包括支援センターや相談支援事業推進協議会とも意見交換を行う必要がある。  【今後の課題】  　・医療と地域の連携の推進するため、退院にむけた標準ルール作りが必要  　・ワーキングだけでは解決が難しい課題も多く、関係団体との協議が必要 |